



●県勢の発展に貢献した富永さん、安さんに表彰状

平成28年度「茨城県表彰」

11月14日、茨城県庁で平成28年「茨城県表彰」の表彰式が行われ、受賞した富永重さん(豊岡)と安節子さん(石神外宿)が、村長を表敬訪問しました。これは、各分野において県勢の発展に著しい功績があった方に贈られるもの。富永さんは約60年間、畳工として技能研さんを重ねるとともに、卓越した技能者として後継者の育成と技能の向上に貢献しました。その高い技術力を活かし、近年は県内の中学校やイベントなどで、体験講座を実施し、技術を広める活動に力を入れています。また、安さんは約40年間、ガールスカウトの活動に尽力し、青少年の健全育成に寄与しました。自ら考え、行動できる人材を育成しようと、これまでに100人以上の少女たちと関わって



【写真左から】安さん、山田村長、富永さん

きたという安さん。活動を通して、多くの少女たちの成長に寄り添ってこられたことがうれしいと話します。お二人の今後のご活躍を祈念しております。

●小学生がスポーツを通じて交流!

第11回「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」

10月16日、三重県菰野町で開催された「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」に村内の小学5・6年生10人(男子7人・女子3人)が参加しました。村と菰野町が平成24年1月に、災害時における相互応援協定を結んだことがきっかけでスタートしたこの交流事業。大会当日は天気にも恵まれ、普段の生活では見られない、美しい山々が連なる自然豊かなコースを駆け抜けました。なかでも、小学5・6年生女子の部(参加者103人)では、2位・3位に入賞し、優秀な成績を収めました。「走るのは大変だったけど、みんなで走れたので頑張れた」と話す子どもたちの表情は、達成感でいっぱいでした。スポーツを通じた交流が、貴重な体験となったようです。



●民生委員・児童委員として15年、照沼さん、宮本さんに表彰状

平成28年度「茨城県知事表彰」

10月28日、茨城県立県民文化センターで行われた第66回「茨城県社会福祉大会」において、照沼はるゑさん(照沼)と宮本隆夫さん(駒西)が茨城県知事表彰を受賞し、11月18日、村長を表敬訪問しました。お二人は、平成13年に民生委員・児童委員に就任以来15年、行政や社会福祉協議会等との連携を密にしながら、地域のさまざまな課題解決に向けて尽力してきました。今年の11月で、委員としての活動を終えるというお二人。山田村長は、「民生委員・児童委員の仕事は、地域の方々のお宅を訪問するなど、苦労が多かったと思います。それでも、地域に暮らす高齢者などの状況を把握して



【写真左から】照沼さん、山田村長、宮本さん

らう中で、委員の方から寄せられる情報はとても貴重で、重要なものです」と、お二人のこれまでの活動に、感謝の言葉を述べていました。

●あなたの体力・運動能力の点数はどのくらい?

「体力・運動能力調査」

2年に1度、村で実施している「体力・運動能力調査」(文部科学省主催)が10月1日、総合体育館で行われました。この調査は、20～79歳までの男女を対象とし、握力・上体起こし・長座体前屈など6種目の体力テストを行い、その結果を分析することで、国民の体力と運動能力の現状を把握し、行政上の基礎資料とするものです。当日は88人が参加し、日ごろから鍛え上げた力を存分に発揮する人や運動不足に気付いた人など、さまざまな姿が見られました。今回の結果からは▽男女ともに得点合計の平均値は全国値を上回っている▽20～64歳代の男性を除き、長座体前屈の平均値が全国値を下回っている——ことなどが明らかとなり、総合的な運動能力は高い傾向にあるものの、柔軟性においてはやや劣るため、何らかの対策が必要であることが分かりました。

